



ELSEVIER

ScienceDirect 電子ブック： 免疫学と微生物学 (Immunology and Microbiology) のポートフォリオ

学際的で、アプリケーションに焦点を当て、研究を行動に移す





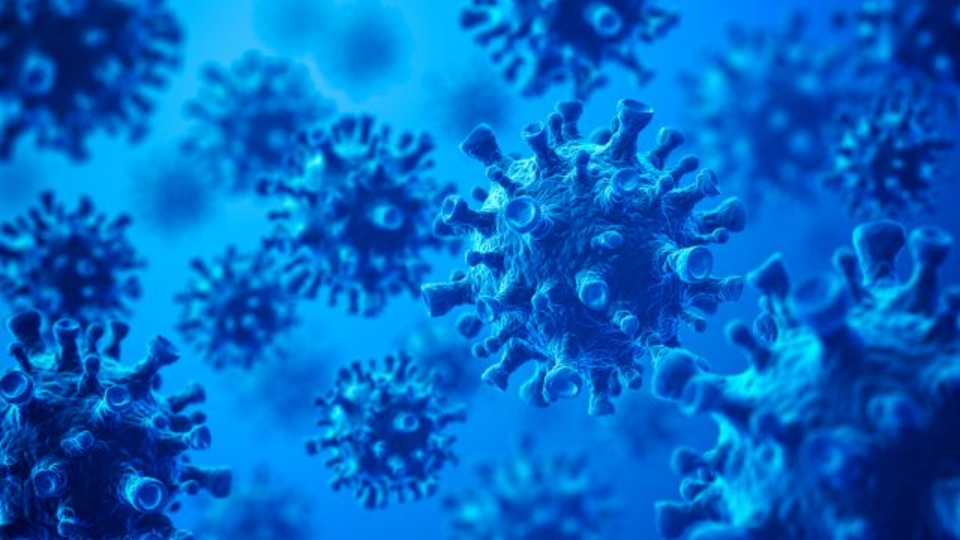
免疫学と微生物学 (Immunology and Microbiology) の電子ブック

免疫学と微生物学:

免疫学、微生物学、寄生虫学、ウイルス学など、幅広いコンテンツで構成されています。

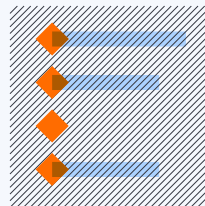
ライフサイエンスの研究者は、地球上の最大の健康問題を解決するための革新的な方法を見つけられています。

ScienceDirect電子ブック【免疫学と微生物学】(Immunology and Microbiology) には、オリジナルの研究、洞察に満ちた分析、最新の理論などが掲載されています。



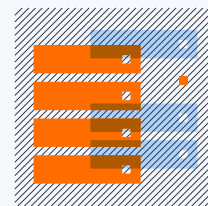
概要1 ScienceDirect 電子ブック 【免疫学と微生物学】

- 研究に関連した高度な内容は、研究者に実践的なテクニックの詳細なガイダンスを提供し、他の分野からの洞察を開きます。
- 実用的なテクニックや実例を盛り込んだ研究やイノベーションのレビューは、最先端の科学とアプリケーション分野（製品やサービス）のブレークスルーをつなぐ架け橋となります。
- 必要なデータやテクニックが掲載された基礎的な内容や参考文献は、エルゼビア社の世界をリードする免疫学や微生物学の科学ジャーナルプログラムにリンクしています。



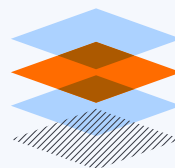
380+

eBook(単行本)



3

レファレンスワーク



580+

ブックシリーズ・ハンドブックシリーズ



20,000+

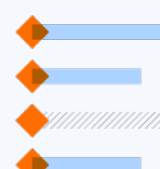
トピックページ



Immunology & Microbiology

FWCI 1.43

ランキング第二位



タイトル当たりの平均

被引用数 **20.4**

概要2 ScienceDirect電子ブック 【免疫学と微生物学】

最も多く使われているトピックページ:

Osmolarity and
Osmolality

CD11c

Disk Diffusion

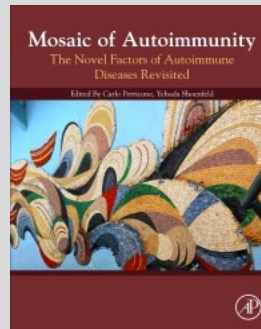
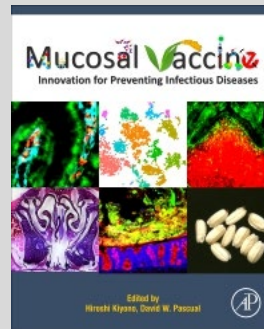
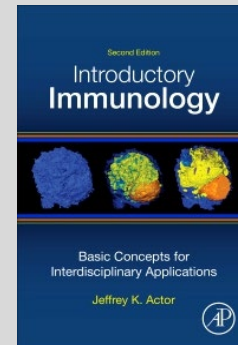
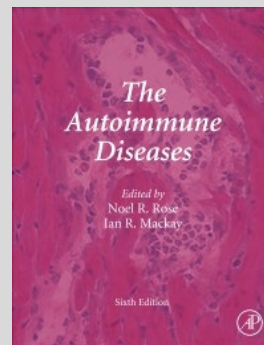
Type I Hypersensitivity

Pyruvate Dehydrogenase

28,000+
views



最も多く使われているタイトル



概要3 ScienceDirect電子ブック【免疫学と微生物学】

対象となる利用者



- **微生物学者**(ウイルス学者を含む): 専門的なコンピュータソフトウェアやさまざまな識別方法を用いて、微生物の培養物やサンプル、新薬の実験分析やモニタリングを行い、臨床試験を計画・実施する。環境微生物の発生を追跡する。
- 免疫系疾患の研究、診断、治療、および予防を行う**免疫学者**
- ウイルス、バクテリア、ワーム、昆虫など、あらゆる種類の寄生虫を研究する**寄生虫学者**
- 学者および研究者(産業界の研究開発を含む)

ポートフォリオの強み



- 著名なシリーズエディターが、トップレベルの研究者と一緒にボリュームエディターや著者として活動していること。
- 市場をリードするエルゼビア社のジャーナル・ポートフォリオとの強い連携(ScienceDirectのセッションでのジャーナルと書籍のコンテンツの共同利用率が高い)。
- 参考文献(テキストとデータ)と実用的な「これをやってみよう」というコンテンツ(テクニックと実例)に焦点を当てた基礎的なタイトル。セグメントをリードする免疫学、(応用)微生物学、ウイルス学、寄生虫学のコンテンツ。

【免疫学と微生物学】 主要な研究課題と研究者自身の課題



主な研究課題

- 膨大なグローバル研究をナビゲートし、機械学習の応用やコンピューティングパワーの向上により発見のペースが加速している分野に追随する。
- 革新的な基礎研究を、スケーラブルな技術や商用アプリケーションに移行する。
- 持続可能性、精密医療、人工知能など、より広範な社会的目標に向けて研究を進める。

研究者の課題

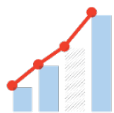


- 多様なソースから様々な品質のデータを収集し、そのデータを有効な方法で分析すること
- 学際的な研究を行う際のナレッジギャップとネットワークの課題(協力者を見つける)(ますます標準的になる)
- 研究費の獲得、キャリアアップ

ScienceDirect電子ブック【免疫学と微生物学】

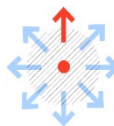
話題のトピック

高度な分析ツールを用いて、編集者はトレンドのトピックや成長分野を特定し、どこに注力すべきかを決定します。



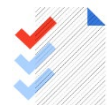
急成長するトピック

- 生殖免疫学、免疫療法
- 応用微生物学、バイオテクノロジー



メジャーなトピック

- 免疫学・応用微生物学、ウイルス学 (COVID)



アクセス件数が多いトピック

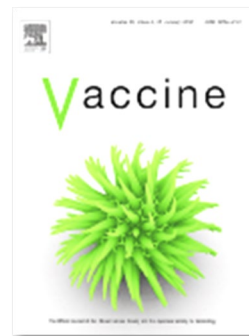
- 微生物学、免疫学、ウイルス学、寄生虫学



- 新しいシリーズ : Reproductive Immunology, vol. 1
Reproductive Immunology, Gil Mor,
9780128185087
- 応用微生物学への戦略的注力により、Streamlined Contentシリーズのタイトル数が増加
- トランスレーショナル・イムノロジーの主要なトレンド・トピックにより、このテーマの新シリーズが登場
- ベストセラーの第三版 : Molecular Medical Biology, 5 volume set, pub. 2021, ISBN 978-0-12-818619-0

ジャーナルとの連携

- エルゼビア社は、【免疫学と微生物学】分野のジャーナルの最大手の出版社で、市場の30.1%を占めています。
- 書籍チームは、ジャーナルチームと緊密に連携して、書籍がジャーナルを補完し、最新の動向に関する基礎的かつ応用的な洞察を提供するよう努めています。
- 【免疫学と微生物学】ポートフォリオの主な成長分野ワクチン、免疫・アレルギー、臨床免疫学
- これらの分野は、電子ブックのポートフォリオの中で、現在のクラスターと新たに契約したシリーズの両方に焦点を当てています。
- エルゼビア社は、148誌の免疫学ジャーナルのうち38誌を発行しており、そのうち3誌（Vaccine, Immunity and Allergy and Clinical Immunology）はトップ10に入っています。



Better Together: ジャーナルとの連携

ScienceDirectでは、毎日平均して64,169のブックチャプターがジャーナルと一緒に利用されています(2020年)。

右側の図の説明

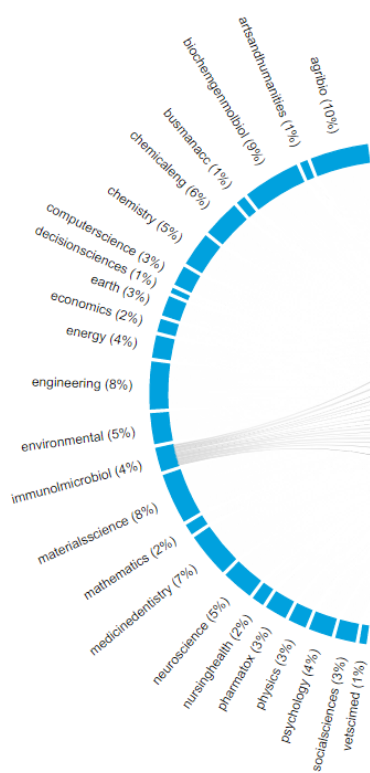
ジャーナル分野の括弧内の数字は、「Immunology and Microbiology」の書籍利用者の学際的なジャーナル研究における、その分野のシェアを示しています。

例:「Immunology and Microbiology」の書籍を利用している研究者の7%は、「Medicine and Dentistry」に関連するジャーナルでも研究を行っています。

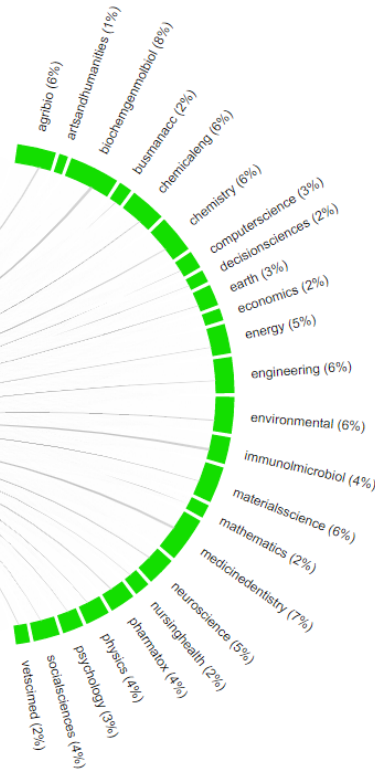
ScienceDirect co-usage visits for books and journals

In 29.1 % of book visits, books are used together with journals globally in 2020.

ScienceDirect Book Disciplines

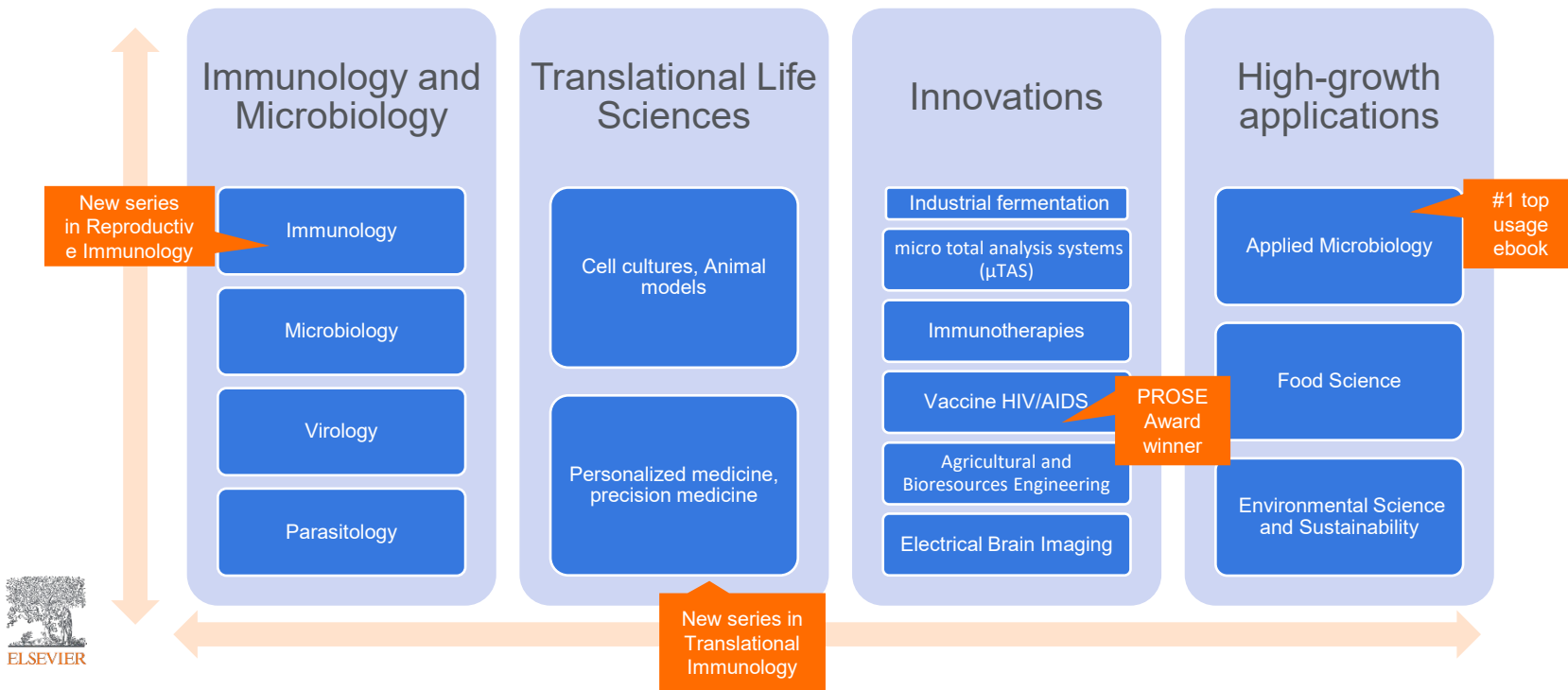


ScienceDirect Journal Disciplines



免疫学と微生物学の焦点：深みと広さ

免疫学や微生物学をはじめとする関連分野の研究者は、関連する複数のサブディシプリンの知識を必要とします。ScienceDirectのコレクションでは、ユーザーは異なる分野間をシームレスに移動することができます。これらの異なる分野のために、新しいStreamlined content bookシリーズが発売されました(Developments In Immunology, Developments in Microbiology, Developments in Applied Microbiology and Biotechnology)。



免疫学と微生物学

利用者の声



30.09.2021

「テキストブックは、授業や現在取り組んでいる研究テーマについての知識を得るために使用しています」

タフツ医科大学教授（米国・ボストン）

「バイオメディカル研究の未来についての私のビジョンは、臨床作業にもっとAIやロボットを使うことです。研究はボーダレス、包括的、集中的であるべきだ」

東京大学大学院教授（日本・東京）

「バイオ技術の進歩により、そう遠くない未来に自己免疫疾患の真の治療法を提供できる可能性を垣間見ることができる重要な岐路に立っています」

ハイデルベルグ大学博士(ドイツ)

「公的資金や民間資金による世界中での研究が増え、この分野は前進しています。妊娠中のワクチン接種の研究は、公衆衛生学、基礎科学、小児科学、産科学が交差する分野であることから、世界の母子の健康にとって関心が高まっています」。

医学博士、アントワープ大学教授、現役一般開業医（ベルギー）

免疫学と微生物学

注目タイトル

免疫学と微生物学

受賞タイトルと著者

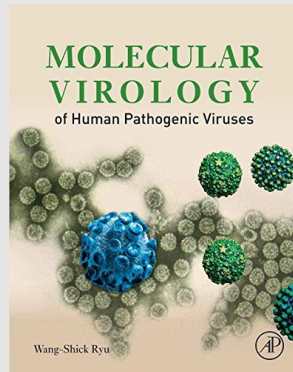
BookAuthority Names 100 Best immunology Books of All Time

As recommended by Bill Gates, Sue Desmondhella, Magda Laskowska, and Sujit Jagani

#4

Molecular Virology of Human Pathogenic Viruses

Wang-Shick Ryu
2016



#9

Introduction to Immunology: Basic Concepts for Interdisciplinary Applications, 2e

Jeffrey K. Actor
2019

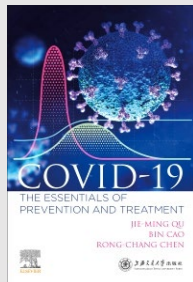


最もインパクトのある発見を共有する 【免疫学と微生物学】2021年の主要タイトル

COVID-19

(9780128240038)

Oct 2020



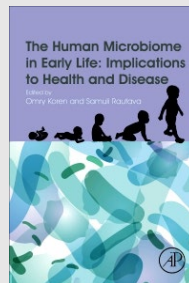
Jie-Ming Qu, Jiao-Tong University, Shanghai (上海)

COVID-19の民族学、病因、疫学、臨床的特徴、治療方針、リハビリテーションと予防、予防と対策について詳しく解説しています。医療従事者を対象とし、実践的なガイドとして書かれており、6つの章でCOVID-19の呼吸器ウイルス、病原性、症例の定義と診断、治療、予防と疾病管理、呼吸器ウイルス感染症の管理と研究の展望などを取り上げています。本書では、COVID-19の予防、制御、診断、治療についての直接的な情報を得ることができます。

The Human Microbiome in Early Life

(9780128180976)

Sept 2020



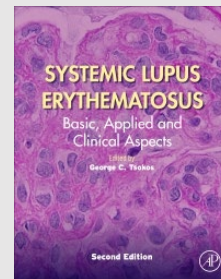
イスラエル、バル・アイラン大学、Koren研究室、Omry Koren氏

本書は、マイクロバイオームの形成、および健康と疾病におけるマイクロバイオームの役割において、生後間もない時期が重要であることに注目した最新の研究成果を紹介しています。本書では、生後間もない時期のヒトのマイクロバイオームの起源に関する現在の知識をレビューし、正常な微生物のコロニー形成を妨げる可能性のあるエクスポージャーを紹介し、病気のリスクへの影響を取り上げています。最後に、健康増進のために初期のヒトのマイクロバイオームを修正するための新たな手段について議論します。

Systemic Lupus Erythematosus, 2e

(9780128145517)

Apr 2020



ジョージ・ツオコス(ハーバード・メディカル・スクール、米国)

完全に更新・拡充された第2版では、基礎科学と臨床科学を融合させ、全身性エリテマトーデス(SLE)のトランスレーショナルな治療を実現しています。SLE患者の診断と管理を行う専門家にとっては貴重な参考資料であり、医薬品開発や病気の基礎研究のための臨床活動の測定ツールであるとともに、病院の図書館での参考図書となっています。

最もインパクトのある発見を紹介する 【免疫学と微生物学】2020年の主なタイトル

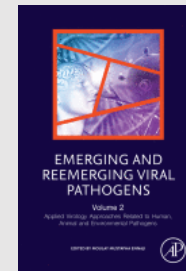
Emerging and Reemerging Viral Pathogens

Volume 1: Fundamental and Basic Virology Aspects of Human, Animal and Plant Pathogens

(9780444563781)

Volume 2: Applied Virology Approaches Related to Human, Animal and Environmental Pathogens

(9780128149669)



編集者

Moulay Mustapha Ennaji, University Hassan II of Casablanca, Casablanca, Morocco (モロッコ)

ヒト、動物、植物に存在する特定のウイルス(コロナウイルスを含む)に関する参考書で、種間の相互作用についても包括的に論じている。続いて、これらのウイルスに対して使用可能な薬剤、ワクチン、バイオインフォマティクスの戦略を見ていき、読者に感染についての明確な理解を与えます。本書の最終的な目標は、新たに伝達可能な病原体の出現は、予防と制御のために共有/採用可能な政策を必要とする世界的なリスクであるという認識を生み出すことです。

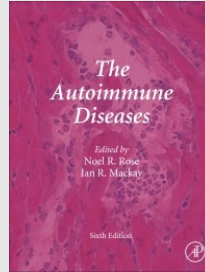
最もインパクトのある発見を共有する

【免疫学と微生物学】2020年以前の主なタイトル

The Autoimmune Diseases, 6e

(9780128121023)

Oct 2019



Noel Ross, John Hopkins(米国) †

イアン・マッケイ(モナシユ大学、米国)

21世紀の医療における「3つのP」、すなわち、精密性、予測性、予防性を重視しています。このトピックでは、大量の個別化された継続的な生理学的データ(「オミックス」と高度な解析方法を組み合わせた現代の生物学へのシステムアプローチ、CRISPRなどの遺伝子工学の新しいテスト、自己炎症性疾患、腫瘍免疫療法に対する自己免疫反応、正常な免疫反応と障害に関する情報を取り上げます。主要な自己免疫疾患のそれぞれについて、患者への対応に経験豊富な研究者や臨床研究者が解説しています。各章では、疾患の免疫学的基礎、免疫学的診断法や治療法の利用を強調しています。

Mucosal Vaccines

(9780128119242)

Oct 2019



清野宏(東京大学、日本)

粘膜免疫学とその関連科学分野の基礎知識と発見について論じています。本書は、粘膜ワクチンの開発、作用機序、分子・細胞学的側面、実用化など、粘膜ワクチンのあらゆる側面を網羅した、完全に更新・改訂された権威ある論文です。本書は、基礎的、臨床的、実用的な側面を説明し、議論するというユニークな形式で構成されています。粘膜ワクチンの開発に関する蓄積された知識と新しい発見が論理的に紹介され、分かりやすく議論されています。

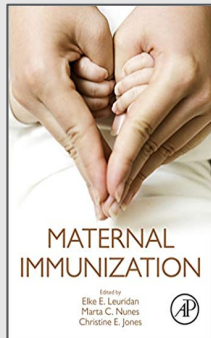
最もインパクトのある発見を共有する

【免疫学と微生物学】2020年以前の主なタイトル

Maternal Immunization, 1e

(9780128145821)

November 2019



エルケ・レウリダン教授

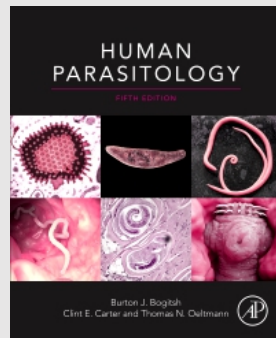
(ベルギー、アントワープ大学)

現在推奨されているワクチンによる妊娠中の予防接種は、母親、胎児、幼児の感染を防ぎますが、これらの脆弱なグループを守るために重要な他の感染症にもこの方法を用いることが、さまざまな関係者から注目されています。この『母性免疫』の目的は、妊娠中（および授乳期）に使用されるワクチンの現代的な概要を、対象となるグループにとって重要な側面に重点を置いて提供することにあります。すなわち、妊娠中のワクチン使用の根拠、安全性、免疫原性（免疫学）、接種時期、反復投与、母体・胎児・乳児の保護効果、既存および将来のワクチンの社会的受容と実施などです。

Human Parasitology, 5e

(9780128137123)

Jun 2018



バート・ボギット

(米国テネシー州

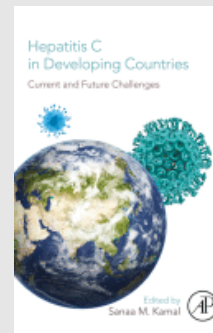
ナッシュビル、ヴァンダービルト大学)

Human Parasitology, Fifth Editionは、寄生の多様な意味を理解するために、機能的な形態学、生理学、生化学、免疫学を取り入れた医学的な視点を強調しています。古典的な臨床寄生虫学のテキストと伝統的な百科事典の間を埋める本書は、寄生虫学の医学的側面に興味のある学生だけでなく、寄生虫の生物学の基礎を身につけたいと考えている学生にも魅力的な内容となっています。この改訂版では、ベクターとしての蚊、ダニ、その他の節足動物に関する最新の分子的発見と、それぞれの最も効果的な治療レジメンを統合するために全面的に改訂されました。

Hepatitis C in developing countries

(978012803233-6)

2018



サナア・M・カマル

(エジプト、カイロ、アインシャムス医科大学)

発展途上国におけるC型肝炎：Current and Future Challengesでは、アフリカ、アジア、南アメリカなど数カ国におけるHCVの現状を調査しています。疫学、臨床パターン、ウイルス学的多様性、重複感染、自然史と進行、合併症、HCVの標準治療（SOC）であるペグインターフェロンとリバビリン療法への反応などに焦点を当て、中・低所得国に特化した提言を行っています。また、グローバルヘルスと経済の観点から見たHCV感染症の負担に関する詳細な情報や、HCVの非ジェノタイプ1に感染した患者を対象としたDAAIに関する多施設共同試験のデータも掲載されています。

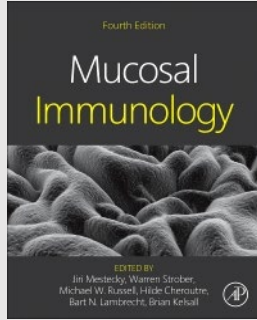
最もインパクトのある発見を共有する

【免疫学と微生物学】2020年以前の主なタイトル

Mucosal Immunology

(9780124158474)

April 2015



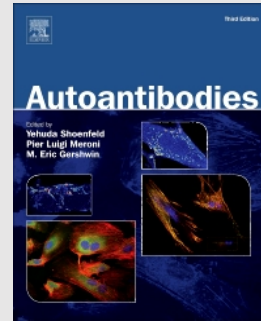
Jiri Mestecky (アラバマ大学、米国) 他

本書は、粘膜免疫学の基礎科学と臨床症状を網羅した唯一の総合的な参考書です。感染症の多くは粘膜を介して体内に侵入し、一般的な感染症の多くは粘膜または粘膜上で発生するため、このテーマは免疫学の分野で非常に重要な領域となっています。この第4版には、新しい研究データ、優れたイラスト、独自の理論、新しい視点、優れた構成が盛り込まれています。

Autoantibodies, 3e

(9780444563781)

Dec 2013



Y. Shoenfeld, Sheba Medical Center, Tel-Hashomer (イスラエル)

自己免疫疾患は、身体の自己構成要素に反応する抗体の発生を特徴とします。最新の第3版では、これまでに確認された主な自己抗体を徹底的にレビューし、特に診断や予後の臨床的価値を示すものに重点を置いています。

Infection and Autoimmunity, 2e

(9780444632692)

Jan 2015



N. ローズ、ジョン・ホプキンス自己免疫疾患センター (米国)

自己免疫疾患は、免疫系が外敵の侵入に代わって体内の臓器を攻撃する疾患です。本書では、分子模倣やポリクローナル活性化など、感染体が自己免疫を誘発するさまざまなメカニズムを扱っています。自己免疫に関連する細菌、ウイルス、寄生虫について概要を説明し、古典的な自己免疫疾患とそれを誘発する感染体についてまとめています。

最もインパクトのある発見を共有する 【免疫学と微生物学】主な百科事典

Encyclopedia of Immunobiology, 1e

(9780080921525)
2016

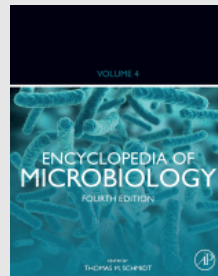


Michael J.H. Ratcliffe (トロント大学・トリニティカレッジ、カナダ)

Encyclopedia of Immunobiologyは、現在入手可能な免疫学の知識を統合した最大の情報源です。第一線の専門家チームが執筆した、この分野のすべての主要なトピックに関する広範で有効な要約で構成されています。実験的、臨床的な免疫学、微生物学、生化学、遺伝学、獣医学、生理学、血液学など、幅広い分野の科学者に関連する多くのトピックをカバーしています。

Encyclopedia of Microbiology, 4e

(9780128117378)
2019

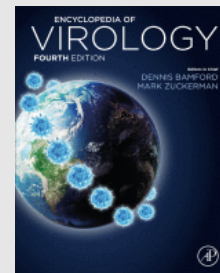


Thomas M. Schmidt (ミシガン大学、米国)

Encyclopedia of Microbiology, Fourth Editionは、地球上のほぼすべての環境を含むこのダイナミックな分野の基礎と応用の両面を網羅しています。この分野では、学際的な研究が増加しており、この百科事典では、さまざまな教育的背景を持つ読者が利用できるようになっています。新版では、前版で確立された強固な基盤をベースに、この分野の最新の進歩を反映した新しい資料を追加しています。

Encyclopedia of Virology, 4e

(9780128145159)
2021



デニス・バンフォード(ヘルシンキ大学、フィンランド)

Encyclopedia of Virology(第4版)は、前版で築かれた強固な基盤の上に、新しくタイムリーなトピックを追加したものです。この本は、ウイルス全体を包括的にカバーしており、ユニークな資料となっています。Covid19のパンデミックにより、ウイルスが私たちの生活や社会に大きな影響を与えることが明らかになっています。この百科事典は、科学者や実務者にとって必携の資料であるとともに、広く一般の人々にとっても素晴らしい情報源となるでしょう。

最もインパクトのある発見を共有する

【免疫学と微生物学】最近のハンドブックやブックシリーズ

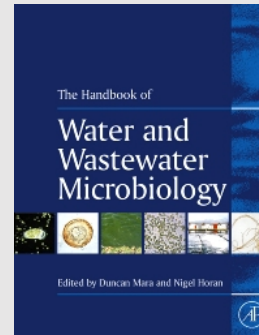
Advances in Virus Research

編集者 マーガレット・クレリアン、アルバート・アインシュタイン医科大学, 米国; トーマス・C・メッテンレイター, フリードリヒ・シェフラー研究所, ドイツ; マリリン・J・ルーシク, ペンシルバニア州立大学, 米国



Handbook of Water and Wastewater Microbiology, 1e

(9780080478197)



ダンカン・マラ、リーズ大学、英国

「安全な水へのアクセスは、人間の基本的なニーズであり、したがって基本的人権である」 --コフィ・アナン（国際連合事務総長）

The Handbook of Water and Wastewater Microbiologyは、この分野で世界的に著名な2人の科学者が編集した、水と下水の微生物学を網羅した決定的な書籍です。世界各国の専門家が寄稿しており、安全な飲料水の供給、水質汚染への対応、廃水管理に関わるプロセスなど、直面する重要な問題をグローバルな視点から解説しています。

Methods in Microbiology

2 volumes a year

シリアルエディター：ヴォルカ・グルティ, 分子微生物学 RMIT University, オーストラリア



Methods in Microbiologyは、この分野の技術と方法論を扱う最も権威あるシリーズです。30年以上にわたって確立されてきました。すぐに使える「レシピ」を提供し、最新の新しい技術や、試行錯誤して確立された方法に対する新しいアプローチを提供します。メソッドテンプレートを使用することで、一貫性のある再現性の高い内容となっています。

「細胞内の遺伝子機能やゲノム構造を詳細に解析するための貴重なリソースです。」 - ネイチャー

Advances in Virus Researchには、動物、植物、真菌、細菌のウイルスに関する基礎研究の詳細なレビューが掲載されています。本シリーズは、学際的な観点から、この分野のリーダーが寄稿しており、世界中のウイルス学者による最先端の研究の貴重な概要を提供しています。本シリーズは、学際的な観点から、この分野のリーダーが寄稿しており、世界中のウイルス学者による最先端の研究を知ることができます。このシリーズは、ウイルス学者、微生物学者、免疫学者、分子生物学者、病理学者、植物研究者にとって貴重なリソースとなります。

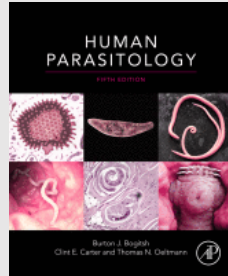
インパクトファクター2019 : 4.633 (著作権 ISI Journal Citation Report)

最も衝撃的な発見を共有する 【免疫学と微生物学】テキストブック

Human Parasitology, 5e

(9780128137123)

2018



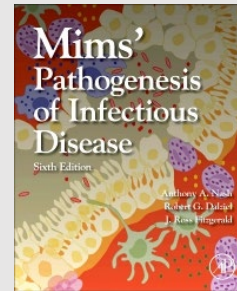
バートン・J・ボギッシュ、クリント・E・カーター、トーマス・N・オルトマン、Vanderbilt University, 米国

この貴重なテキストは、寄生虫の多様な意味を理解するために、機能的な形態学、生理学、生化学、免疫学を取り入れた医学的な視点を強調しています。古典的な臨床寄生虫学のテキストと伝統的な百科事典の間のギャップを埋めるために、本書は全面的に改訂され、ベクターとしての蚊、ダニ、その他の節足動物に関する最新の分子的発見と、それぞれに対する最も効果的な治療レジメンを統合しています。

Mims' Pathogenesis of Infectious Disease, 6e

(9780123971883)

2015



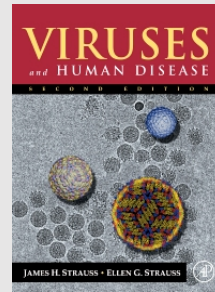
アンソニー・A・ナッシュ、ロバート・G・ダルジール、J・ロス・フィッツジェラルド（英国・エジンバラ大学）Anthony A. Nash, Robert G. Dalziel, J. Ross Fitzgerald

感染症分野の画期的な書籍である本書の改訂版では、微生物の感染メカニズムと感染症の病態について、包括的かつ最新の情報を提供しています。感染症に共通する要因を説明しながら、様々な種類の微生物を統合的に扱っており、わかりやすい構成になっています。分子生物学、病理学、免疫学の観点から、感染拡大、免疫反応、回復のメカニズムを解説しています。

Viruses and Human Disease, 2e

(9780123737410)

2008



エレン・ストラウス、ジェームス・ストラウス（米国カリフォルニア州カリフォルニア大学）

この画期的なテキストの新版では、基礎的なウイルス学と病態生理を統合し、ウイルス学とヒトの病気との関連性を考察しています。このテキストは、ヒト、家畜、脊椎動物に感染するウイルスに焦点を当てており、ジェームズ・ストラウスが30年以上にわたって教えてきたカリフォルニア工科大学のウイルス学クラスの広範なコースノートに基づいています。

影響力のある編集者と著者

【免疫学と微生物学】

シリーズエディター(著名な科学者や医師)とエルゼビアの熟練したアキュイジション・エディターのチームは、ScopusやSciValなどの情報源から得られる書誌データとネットワークを駆使して、世界中の一流の科学者やエンジニアを巻頭編集者や著者として採用しています。その結果、国内の名誉ある賞や学会賞、賞の受賞者を多数輩出することができました。

I&Mプログラムに貢献した著名人には、Gil Mor教授、Yehuda Shoenfeld教授、Tak Mak教授、Nima Rezaei教授、故Noel Rose教授などがいます。



ギル・モル教授(寄附講座)
産科・婦人科
ウエイン州立大学医学部



Nima Rezaei教授(テヘラン医科大学、イラン):
アーリーキャリアの科学者で、MRWの新編集者、I&Mのシリーズ編集者。



Yehuda Shoenfeld教授、MD、FRCP、MaACR。
自己免疫疾患のためのZabludowiczセンター。イスラエル、テルアビブ大学、テルハショマー、シェバ医療センター



Tak Mak教授(カナダ・アルバータ大学)がキング・ファイサル・プライスを受賞。「免疫細胞が外来のタンパク質やウイルスを認識して不活性化する構造を独自に発見した」ことが評価されました。Primer to the Immune Response(免疫反応入門)の編集者



故ノエル・ローズ教授
ジョン・ホプキンス大学 教科書「The Autoimmune Diseases」の第6版の編集者。ノエル・ローズ教授は2020年に逝去



Thank you

